

**令和3年度
林業分野における新技術推進対策事業費補助金
林業分野への新技術導入・実証事業(異分野技術導入・実証)
補助事業概要説明書**

提出日 :2022年〇月〇日

事業者名:〇〇〇〇

事業名 :〇〇〇〇

製品・サービス

イメージ等の

図を貼付

事業の実施内容

【提案を求める事項】※下記を満たせば、提案の形式は問わない。

1. 解決しようとする林業分野の課題

- － 森林・林業分野の課題の中で、自社のサービス・製品にて解決しようとしている領域について説明すること。

2.. 事業の全体像と、林業分野の課題解決に与えるインパクト

- － 自社のサービス・製品の概要(想定顧客、ソリューション、提供価値、価格等)を説明すること。
- － 自社のサービス・製品が林業分野に普及した際の、課題解決に与えるインパクトを説明すること。

3.. 顧客の課題・ニーズの把握・検証状況

- － 事業開発計画において根幹をなしている、独自の課題設定、自社のサービス・製品のニーズについて説明すること。
- － 上記を把握・検証した活動等があれば、その具体的な内容についても説明すること。

4.. 製品・サービスの差別化要素と開発状況

- － 自社のサービス・製品の、既に実用化されている既存技術等に対する差別化要素を説明すること。
- － 自社のサービス・製品が、現時点でどういった開発状況にあり、実用可能かどうかを説明すること。

5. 林業分野への普及にあたっての課題認識

- － 自社のサービス・製品が、実際に付加価値向上や業務効率化につながるまでの課題を説明すること。
- － その課題に対応できるよう、各類型の特徴に応じて必要な体制や普及計画を説明すること。

6.. 事業化に向けた全体計画

- － 前項の課題認識に対応して、事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。

7.. 実証事業の計画と検証項目

- － 本補助事業にて実施する実証事業の目的と内容を説明すること。
- － 実証事業の実施にあたっての仮説と、その検証項目について説明すること。

8.. 実証結果によるピボットの可能性とその範囲

- － 実証事業を進める中で、事業内容・計画の転換(ピボット)する可能性について、現時点で想定される内容を説明すること。

1. 解決しようとする森林・林業分野の課題

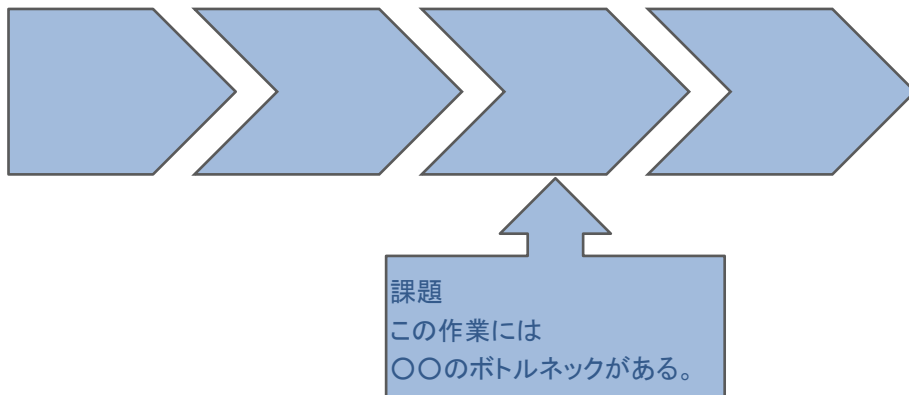
- 森林・林業分野の課題の中で、自社のサービス・製品にて解決しようとしている領域について説明すること。
- **(記入例)林業分野の課題**
 - 森林・林業分野における課題として〇〇が挙げられる。
 - その課題の原因は(〇〇の付加価値が低く or 〇〇の効率が悪く)、結果として〇〇ができていなかったからである。

(記入例)森林・林業分野の課題

□課題

森林・林業分野における課題は〇〇である。

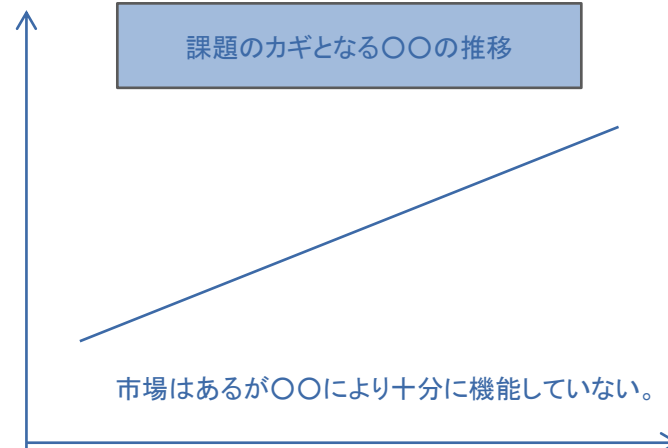
森林・林業分野の〇〇業務のフロー



(記入例)森林・林業分野の課題

□課題

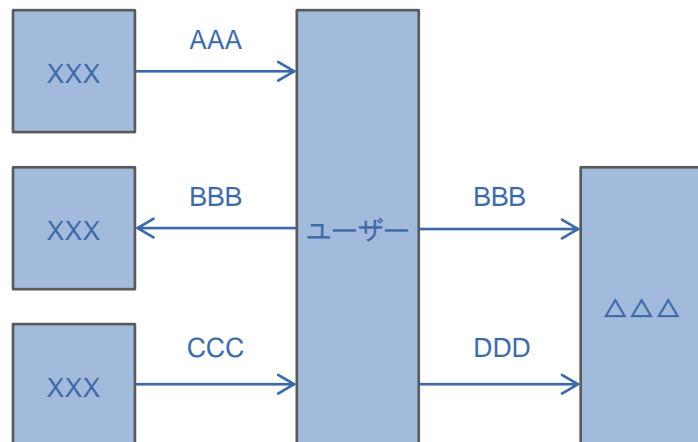
森林・林業分野における課題は〇〇である。



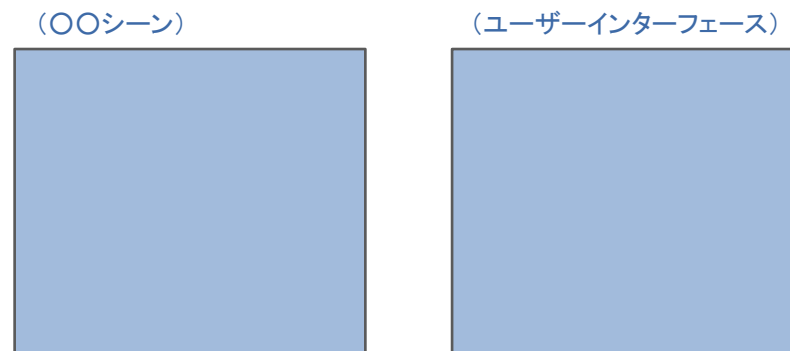
2. 事業の全体像と、森林・林業分野の課題解決に与えるインパクト

- 自社のサービス・製品の概要(想定顧客、ソリューション、提供価値、価格等)を説明すること。
- 自社のサービス・製品が森林・林業分野に普及した際の、課題解決に与えるインパクトを説明すること。
- **(記入例)**サービス・製品の概要とビジネスモデル。
 - ○○の課題の根幹は○○にあり、そこにフォーカスした○○なソリューションが求められている。
 - 当社が開発している○○という商品を○○に、○○の形で提供し、○○の課題を解決する。
 - 将来的には、○○データの蓄積によって、○○サービスにも発展させることを検討している。

ビジネスモデル概要



サービスの提供シーンイメージ

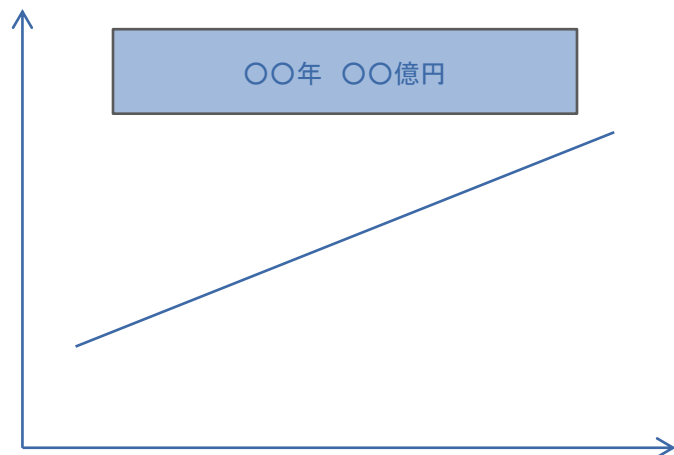


2. 事業の全体像と、森林・林業分野の課題解決に与えるインパクト

■（記入例）森林・林業分野の課題解決に与えるインパクト

- ○○作業コストは、○○億円。○○ニーズをとらえたサービスを提供することで、森林・林業分野における○○の課題を解決する。
- 当サービス・商品によって、森林・林業分野の○○の（付加価値が○○%向上する or 効率が○○%改善する）ことが期待できる。

○○にかかる作業コスト(○○年)



自社商品概要

✓ 農業用に開発された○○

✓ 既に農業分野では○○個販売済み

✓ 森林・林業分野の○○の課題に利用できる可能性

3. 顧客の課題・ニーズの把握・検証状況

- 事業開発計画において根幹をなしている、独自の課題設定、自社のサービス・製品のニーズについて説明すること。
- 上記を把握・検証した活動等があれば、その具体的な内容についても説明すること。
- **(記入例)独自の課題設定**
 - その課題の根幹は〇〇にあり、そこにフォーカスした〇〇なソリューションが求められている。
 - なお、〇〇については、過去〇〇にて実施した〇〇調査により、〇〇の母集団に対して、〇〇のニーズがあることが判明している。
 - 〇〇のニーズをもった〇〇と、〇〇ヶ月の実証実験をおこない、結果として〇〇の評価を得ている。

これまでの活動

- ✓ 既に〇〇分野の商品開発で実績
- ✓ 〇〇に自社の知見あり
- ✓ 〇〇ニーズを既に検証済み

把握しているニーズと独自の課題設定



4. 製品・サービスの差別化要素と開発状況

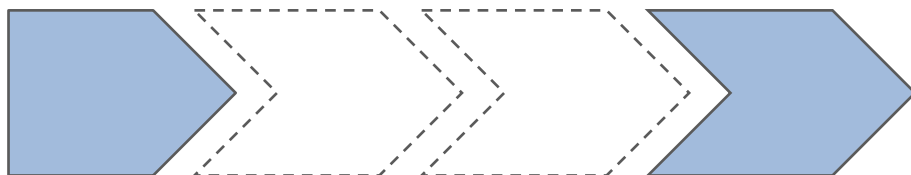
- 自社のサービス・製品の、既に実用化されている既存技術等に対する差別化要素を説明すること。
- 自社のサービス・製品が、現時点でこういった開発状況にあり、実用可能かどうかを説明すること。
- **(記入例)差別化要素**
 - 既存技術では根本的な〇〇という課題に対処できていないが、開発する製品は〇〇ができることによって対処できる。
 - 現時点で、〇〇用のプロトタイプは開発済みであり、技術的には実用化可能。〇〇などの特殊なケースでの利用は未検証。

開発サービス

(既存サービス)



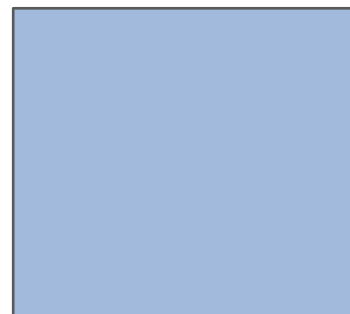
(開発するサービス)



〇〇によって、〇〇プロセスが無いことで、〇〇につながる。

開発製品イメージ

(既存技術)



(プロトタイプ)



5. 森林・林業分野への普及にあたっての課題認識

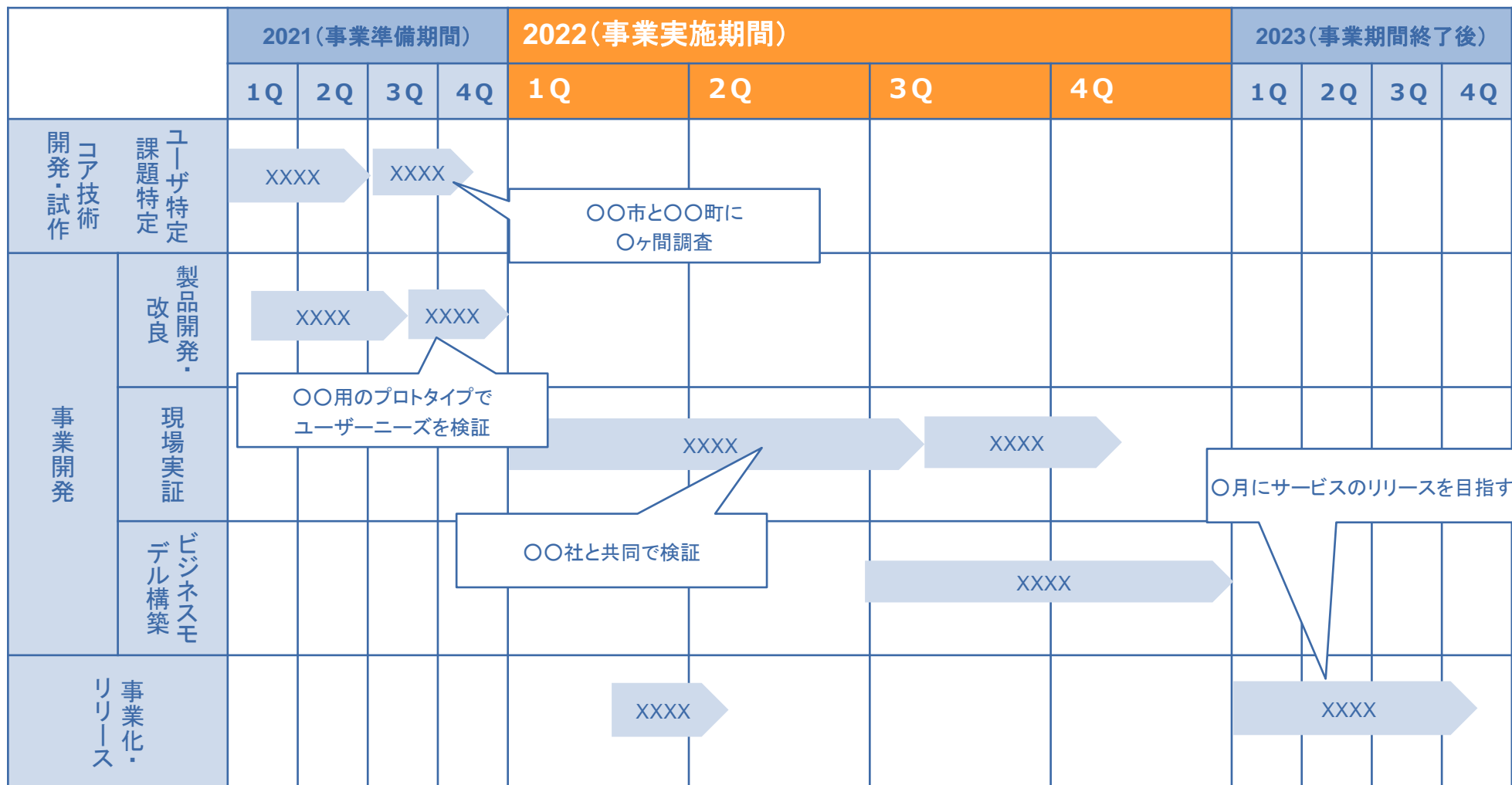
- 自社のサービス・製品が、実際に付加価値向上や業務効率化につながるまでの課題を説明すること。
- その課題に対応できるよう、各類型の特徴に応じて必要な体制や普及計画を説明すること。

- **(記入例)付加価値の高め方**
 - 本事業は、〇〇が、〇万円程度で売れるかどうかポイント。
 - そのために、〇〇社と連携して〇〇市場のバイヤーの意見を取り入れる体制を構築し、〇〇に特化した製品作りを進める。

- **(記入例)業務効率化の進め方**
 - 本事業は、〇〇の現場で、〇〇が使いこなせるかどうかポイント。
 - 〇〇組合と連携して、使用用途を〇〇に限定して現場の導入実績を作る。その間に改善した〇〇部品開発を並行して進め、〇〇に用途を拡大する。

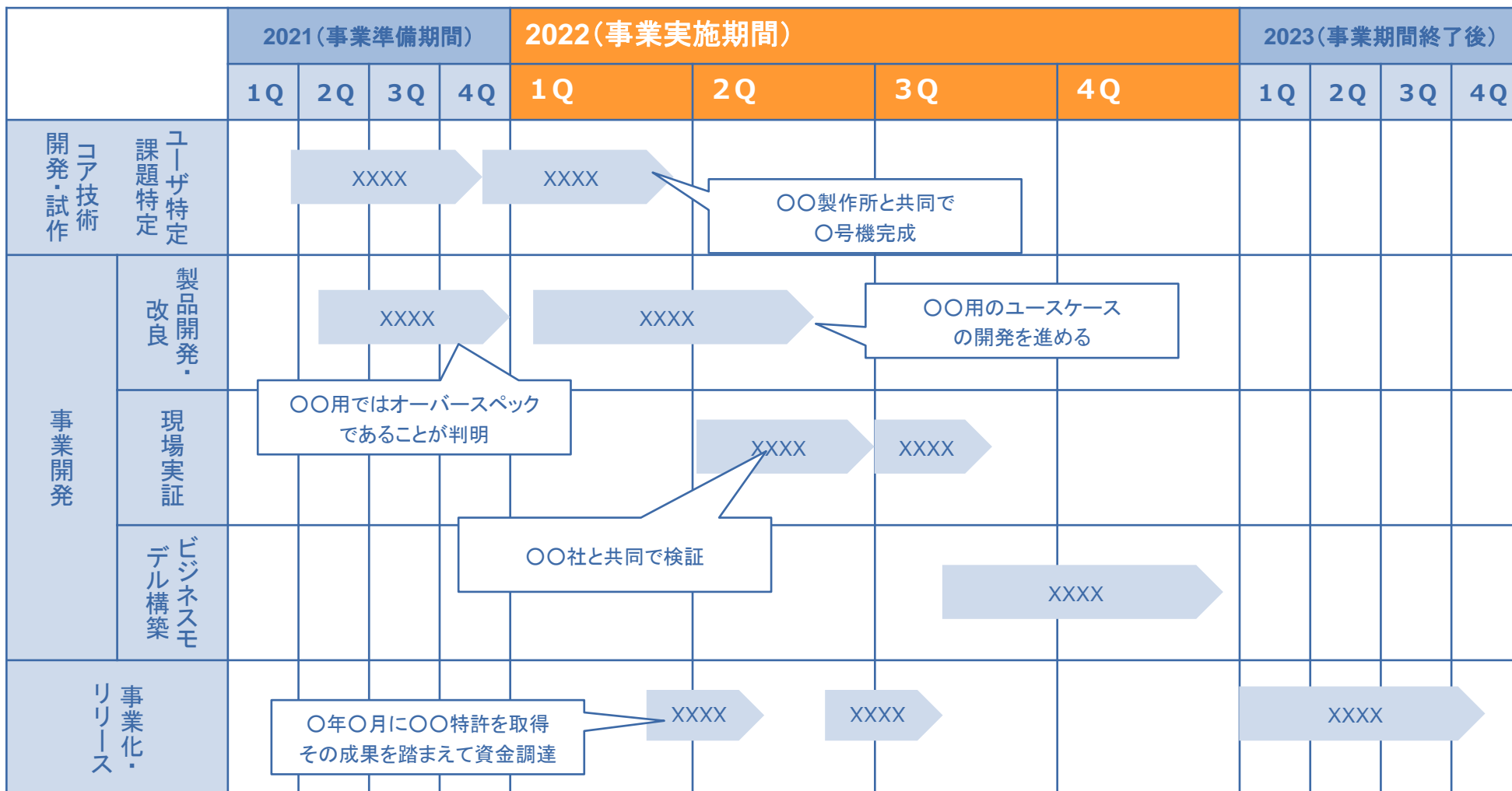
6. 事業化に向けた全体計画(類型A:付加価値型(売上アップ))

- 前項の課題認識を踏まえて、事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。



6. 事業化に向けた全体計画(類型B:効率化型(コストダウン))

- 前項の課題認識を踏まえて、事業化に向けた計画について今後2年間程度の計画(商品開発、販売、資金調達、体制構築等)を説明すること。



7. 実証事業の計画と検証項目

- 本補助事業にて実施する実証事業の目的と内容を説明すること。
- 実証事業の実施にあたっての仮説と、その検証項目について説明すること。
- **検証項目**
 - ○○のニーズがあるか？○○で既存の課題を解決しうるか？
 - ○○デバイスを用いることによる、○○の課題は解決しうるか。
 - ○○の範囲で○○の課題を解決可能か。
- **事業開発目標(サービス関連)**
 - ○年○月までに、○○の検証を終えること。
 - 上記の検証を持って、○○のサービス内容を確定し、○年○月をもってリリースすること。
 - ○○性能を既存○号機の2倍(○○以上)

8. 実証結果によるピボットの可能性とその範囲

- 実証事業を進める中で、事業内容・計画の転換(ピボット)する可能性について、現時点で想定される内容を説明すること。

■ ピボットが想定されるケース

- ○○のニーズが想定されたほどなかった場合
- ○○の課題に対する解が○○ではなかった場合

■ ピボットの内容

- サービスを○○へ変更する。
- 解決する課題を○○へと変更し、試作内容を○○へと変更する。
- 当初想定していたよりも○○を○○へ仕様変更し、○○の課題解決を目指す。

■ ピボットの期限

- ○年○月までに、○○の検証の結果を鑑みて判断する。